

ベルではじまる リサイクル



キヤノンのカートリッジリサイクルと
ベルマーク運動のご紹介

Canon

読者のみなさまへ

キヤノンでは、カートリッジの回収・リサイクルプログラムの一環として、使用済みカートリッジ回収によるベルマーク運動に取り組んでいます。

この活動を通じて子供たちにリサイクルの大切さを訴え、環境保護の推進と社会貢献である教育支援を行います。

本冊子は、環境保護の大切さをお子様によりわかりやすく理解してもらい、またカートリッジ回収によるベルマーク運動の仕組みについても広く理解してもらうことを目的として作成しました。

皆様の環境教育にぜひご利用ください。

*本冊子はキヤノンホームページでダウンロード・印刷できます。 <http://canon.jp/ecology/>

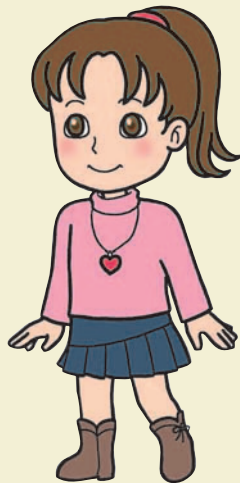
目次

- 🔦 第1章 「資源」と「ゴミ」について考えよう2
- 🔦 第2章 キヤノンのカートリッジリサイクルを知ろう7
- 🔦 第3章 カートリッジのベルマーク運動に参加しよう9
- 🔦 第4章 リサイクルに取り組もう12

登場キャラクターの紹介



しょうた
正太
しょうがっこう ねんせい
小学校4年生。
サッカー好き。



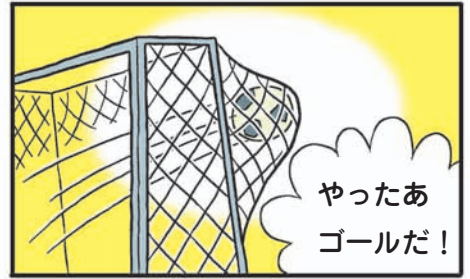
なみ
奈美
しょうた ねえ
正太のお姉さん。
しょうがっこう ねんせい
小学校6年生。
おしゃれ大好き。



カエルくん
リサイクルのことには
ちょっとうるさい。
なみ しょうた いえ
奈美と正太の家に
す
住んでいる。



せんせい
フクロウ先生
リサイクルのことに
とてもくわしい。
りな
リサイクルの話
を
き
聞きつけると飛んでくる。





つか
ふだん使っているもの

ちきゅう しげん
地球の資源



ぼくたちがふだん使っているものはもとは地球の資源を使っているんだ

へえ～

どれも長い年月をかけて自然が作った地球の資源なんだよ



でも 地球の資源はいくらでもあるわけじゃないんだ

いつかなくなってしまうってこと？

そうなんだ どんどん使っていたらなくなってしまうものなんだ



さっき 正太くんが捨てたペットボトルも

石油からできているんだよ

知らなかった…

急に悪いことをした気分になってきたよ…



クイズ
1



石油はあとどのくらい使えるでしょうか？

- ① 40年 ② 80年 ③ 120年



かんが
考えてみよう1

石油や石炭をはじめ資源が少なくなったら私たちのくらしはどうなってしまいますか？

どうなるんだろう？

洋服は関係ないよね…？



「クイズ」の答えと「考えてみよう」の解説は最後のページにあるよ。



クイズ 2

いちにち ひとり一日どのくらいゴミを出しているでしょうか？

① 100g グラム ② 500g グラム ③ 1kg キログラム

かんが 考えてみよう2

ゴミを埋める場所がなくなったら、私たちの
くらしはどうなってしまおうのでしょうか？

あたし 新しく埋める
場所を作ればい
んじゃないの？

わたし 私たちが住める
場所が減っちゃう
んじゃない？

「クイズ2」の答えと「考えてみよう2」の解説は最後のページにあるよ。



身近なリサイクルの例だよ



紙の種類ごとに紙製品としてもう一度生まれ変わります。

リサイクルでできるもの
再生紙、段ボール、燃料など



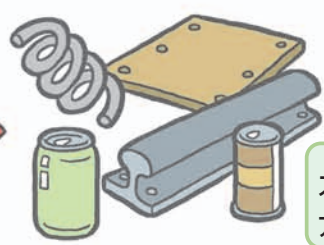
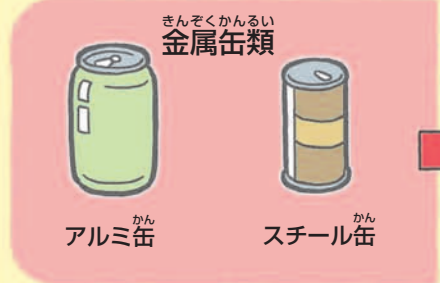
ガラスの種類ごとにガラス系製品としてもう一度生まれ変わります。使えるビンは洗ってもう一度使います。

リサイクルでできるもの
ガラス、断熱材、タイルなど



もう一度製品として生まれ変わります。

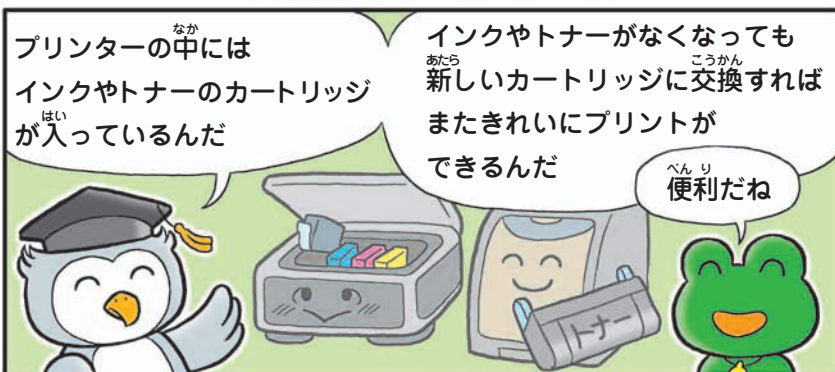
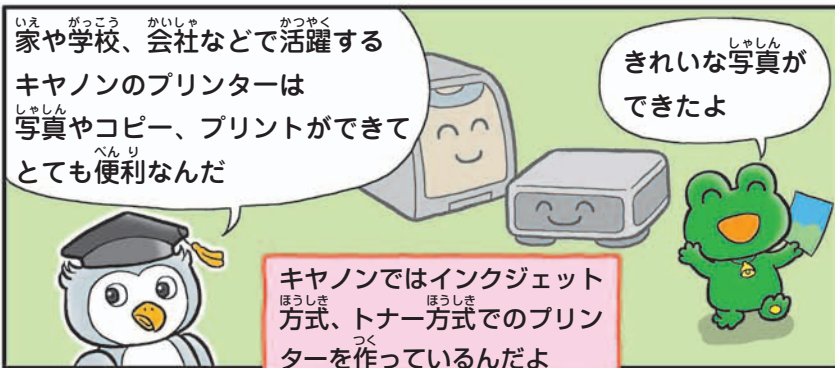
リサイクルでできるもの
ペットボトル、衣類、各種容器など



それぞれもう一度、スチール・アルミ製品として生まれ変わります。

リサイクルでできるもの
スチール缶：鉄骨、各種部品など
アルミ缶：アルミサッシ、各種部品など

第2章 キヤノンのカートリッジリサイクルを知ろう



リサイクルには
いくつかの
やりかたがあるんだ



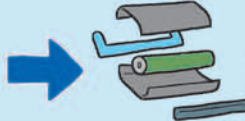
ふ〜ん
おもしろいね



カートリッジリサイクルのイメージ1 (トナーカートリッジ)



まだきれいだぞ



ぶんかいして
分解して

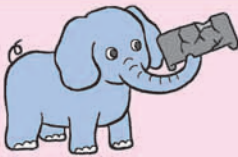


きれいに洗って
きれいにあらって



つかえる部品は再使用
つかえる部品はさいしゅう

カートリッジリサイクルのイメージ2 (トナーおよびインクカートリッジ)

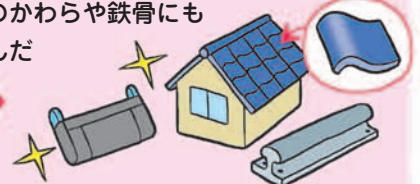


ちょっといたみがはげしいな



こまかくくだいて

またカートリッジの一部になったり
屋根のかわらや鉄骨にも
なるんだ



いろんなものに生まれかわるんだ

カートリッジリサイクルのイメージ3 (トナーおよびインクカートリッジ)



このままでは使えないな



セメントを作るときなどの燃料として使います

せきゆ せきたん
石油や石炭を
せつやく
節約できるんだね



キヤノンは
あつ
集めたカートリッジを
ぜんぶ資源として
つか
使ってるんだ

ゴミにならずに
また資源に
カエルんだね

カエルだけに...
なんちゃって



第3章 カートリッジのベルマーク運動に参加しよう

でもカートリッジはどこにも持っていけばいいの？

使い終わったキヤノンのカートリッジは学校に持っていきよう！

カートリッジを学校からキヤノンに送るとベルマークの点数がもらえるんだよ

キヤノンでは、使用済みのキヤノン製カートリッジ回収でベルマーク点数をつける「カートリッジ回収によるベルマーク運動」を行っています。
(ベルマーク教育助成財団に登録されているPTA等が対象です)

ふ〜ん

リサイクルに協力すると

ベルマークの点数がもらえるのね

トナーカートリッジ 50点

インクカートリッジ 5点

カートリッジの箱にベルの絵がかいてあるね

これがな

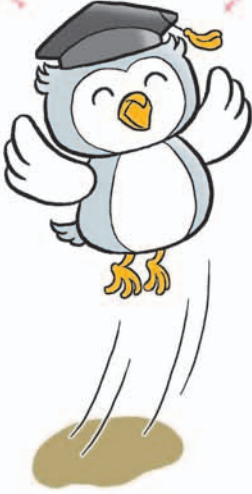
ちがうよ！

それは点数にはならないんだよ

そう普通のベルマークとはあつめた方が違うんだ

よしっ

じっさい
実際に
やってみよう!



じっさい てつづ
実際の手続きはPTAの
かた おこな
方が行ってください

まず、キヤノンのホームページから
かいしゅうばこせいきゅう
回収箱請求シートを印刷して



トナーカートリッジと
インクカートリッジは
それぞれ別のもものなね



つぎ、シートに学校名など必要なことを書いて
キヤノンにファクス送信するんだ

えいっ!



すると数日で回収箱が届くよ



かいしゅうばこ むりょう とど
(回収箱は無料で届きます)

しょうず
使用済みのカートリッジを
かいしゅうばこ
回収箱いっぱいになるように
入れてね



トナーカートリッジなら最低8本
インクカートリッジは200~300個入るよ



カートリッジは
はこ
箱にいっぱいにしなくちゃ
いけないの?



なんどもはこぶより、1箱にカートリッジをいっぱい
入れたほうが、車の燃料を使わなくて済むんだ



なるべくいっぱい入れて
しげん せつやく きょうりょく
資源の節約に協力してね

【注意！】
 集めるのはキヤノン製の
 カートリッジだけだよ！

こういう
 カートリッジは？

キヤノンではない会社の
 カートリッジ

キヤノンのプリンター用に
 別の会社が作ったカートリッジ

これらは
 キヤノンに送っても
 点数にならないんだ

他社製カートリッジの
 リサイクル方法は
 それぞれの会社に
 お問い合わせください

回収箱がいっぱいになったら
 指定の宅配便に連絡して
 集めてもらってね

ちゃんと箱にカートリッジの
 個数を書いてね

宅配便

数日後…

キヤノンから
 「点数証明書」っていう
 ハガキが送られてきたよ

キヤノン
 ベルマーク
 点数証明書
 1000点

カートリッジをリサイクルできて
 ベルマーク点数ももらえるなんて
 いいね！！

このハガキがベルマークと
 同じになるんだ

ほか
 他のベルマークといっしょに
 ベルマーク財団に送ってね

ベルマーク財団
 御中

だい しょう 第4章 リサイクルに取り組もう





キヤノンのリサイクル、ベルマーク運動について くわしくは以下のホームページをご覧ください。

<http://canon.jp/ecology/>

クイズの答え

●クイズ1 正解は…①【あと40年】



40年後
みんなは何歳かな？

ぼくたちがおとなになるときは
石油がなくなっちゃうの？



出典:資源エネルギー庁発行 エネルギー白書2006から引用 石油資源の可採年数は「40.5年」(2004年末時点)

●クイズ2 正解は…③【ひとり1日1kg程度】



1クラス分的人数(37人)のゴミを
毎日集めたら1ヶ月で自動車1台分
ほどの重さになるんだよ

駐車場がいっぱいいるね



出典:平成17年11月4日 環境省報道発表資料から引用 一般廃棄物 1人1日当たりのごみ排出量は「1106g」



【解説】考えてみよう

【考えてみよう1】

石油や石炭をはじめ、私たちの生活で使われているものの多くは、地球の資源からできています。奈美ちゃんが気にしていましたが、実は洋服の中にも石油を使っているものもあります。こういった資源がなくなってくると、今までのような生活はできなくなります。資源が入手しにくくなると、ものの値段があがったり、ものを作れなくなったりします。

例えば石油が不足すると、洋服の値段が今までより高くなって、今までのようにおしゃれを楽しむことはできなくなるかもしれません。

特に日本はこういった資源を外国から輸入している割合が高いので、影響が大きいと考えられます。また、資源の取り合いで国同士の争いにまで発展するケースが増えるかもしれません。

【考えてみよう2】

ゴミが出たら捨てて、埋めてしまう。こんな生活ができるのは当たり前のことだと考えられてきました。しかし、そんな便利な生活をいつまでも続けることはできません。なぜなら、土地はいくらでもあるものではないからです。

土地は私たちが生活するうえで必要なものであり、埋立てに使える場所は限られています。新しい埋立て場所を作ろうとしても、汚染の問題もあり、簡単には作れません。

そこで、今までのようにはゴミを出せないようにする動きが広がるかもしれません。粗大ゴミを出すのにお金がかかるようになったり、今までは無料でもらえていたレジ袋にお金がかかるようになったケースもあります。



Canon

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社



*掲載している内容は2008年2月現在の内容です。
00291312 Printed In Japan